



図書館 だより

図書館 ☎69・3706

「おしえて! 図書館」

Q 芋版画や消しゴムはんこの年賀状の作り方の本はありますか?

A 最近パソコンの年賀状が多いですが、手作りも味があっていいですね。版画やハンコで作る年賀状の本をご紹介します。



楽しく手作り芋と木と消しゴムの年賀状

小町谷 新子・尾見 伝吉・
上村 旺司 / 著
日貿出版社

花を題材に優しさを伝える芋版画。力強い雪景色を彫った木版画。縁起物や風物を集めた消しゴム印。素材もテーマも異なる3つの「彫る」年賀状を紹介する。実寸下絵集も収録。

ほかに毛筆で書く年賀状の本もあります。



めがせ年賀状の達人 筆書き吉祥語88例

吉澤 鐵之 / 著
二玄社

「迎春」「寿」「慶賀」など、年賀状にふさわしい88語の吉祥語を、篆隸楷行草で書き分けて紹介した書例集。それぞれの語の意味や解説のほか、添え書き書例、干支表も掲載する。

図書館では、来年の干支を題材に、消しゴムはんこの講座を、11月17日(日)に開催します。(募集のページをご覧ください。)皆様のご参加をお待ちしています。

貸出中の場合もありますので、本が見当たらない時はお気軽に職員にお尋ねください。

プラナリア

■キングギドラ

子どもの頃に見た「ゴジラ」の映画でゴジラの敵として宇宙から現れた「キングギドラ」という怪獣は、体は1つなのに首から上の龍のような頭が3つあり、3つの首は互いにかまることなくそれぞれが独自の意思で動いており衝撃を受けた。ヤマタノオロチのような怪獣だ。頭は3つなのに体は1つなので、1つがエサを食べれば3つともお腹いっぱいになるの

か、右の首は右に行きたい、左の首は左に行きたい場合は真ん中の首が進行方向の決定権を持つのだろうか、などさまざまな疑問が浮かんだ。

■キングギドラ的生物

実は幼少の頃に衝撃を受けたキングギドラのような生物が最近担当する水槽の中に現れて私は興奮しやや呼吸が乱れている。その生物は通称「プラナリア」という。正式には本名「ナミウズムシ」で、ペラペラのツチノコ型の体の先頭部分に2つの目があり、その間に

神経の集合体である脳のようなものがある。口は体の中央部にある。キングギドラのように大怪獣ではなく、大きさ1センチほどの小さな生き物で、ナメクジ的に水槽のガラス面や砂の上をのんきにはい回っている。

■プラナリアの特徴

プラナリアの最大の驚愕秘技は「切断されると2匹になる」ということで、つまり分裂が可能、普段は分裂により子孫繁栄している。いつも忙しくて「分身したい」と言っている我々飼育員にはうらやましい話である。調べてみると、体の中央で意図的に切断してやると条件が良ければ2週間ほどで完全に2匹になるという。興味を持ってさらに調べ

ると、良好状態のものなら10個に切断しても余裕で10匹になるという。驚異的生物である。この切断を縦に切る、つまり頭から竹を割るように体の中心部まで裂くように切ると、下半身は1つ、上半身(頭部)は2つのキングギドラのような体形になるという。実験では尾部1つに対しそれにつながる頭部が14個という記録があるという。蒲郡の川でも石をひっくり返すとその裏に発見できるので、ぜひ飼育して分裂実験を試してみたいかがでしようか。



プラナリア



学芸員 小林龍二

竹島水族館
☎68・2059